

研究対象者の皆様

研究課題

「女性が活躍している組織に所属する常勤医の非意識のジェンダーバイアスと葛藤、離職意思についての研究」へのご参加のお願い

1. この研究の概要

【研究課題】

女性が活躍している組織に所属する常勤医の非意識のジェンダーバイアスと葛藤、離職意思についての研究（審査番号 2023268NI）

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学大学院医学系研究科医学教育国際研究センター医学教育学部門

研究責任者 江頭正人 東京大学大学院医学系研究科医学教育国際研究センター医学教育学部門教授

担当業務 研究計画、アンケート調査、データ分析、論文執筆

【研究期間】

承認日 ～ 2028年10月31日

【研究目的・意義】

女性医師の就業率は出産・育児と重なることが多い30代で特に低下し38歳で最低の73.4%になります。そのため育児・仕事の両立が困難と感じた女性医師が早期に離職していると今まで考えられてきました。一方、日本政府は育児支援政策を積極的に行い、2017年から保育園待機児童数は減少し、2022年に8割の自治体で待機児童問題は解消しました。またこれに伴い35-39歳の一般的な女性就業率は10年で12.7%改善しました。しかし、女性医師の38歳時の就業率は10年間で2.6%悪化しました。このように多くの女性医師が離職することは、医師不足を招くだけでなく高度で専門的な医師を養成するための生涯学習支援を困難にしています。

今までに日本の女性医師の離職原因は、長時間で過酷な労働による出産・育児の両立困難、流産・早産の経験数の多さ、ロールモデル不足などの環境要因が指摘されてきました。しかし女性医師の離職は未だに続いており、根本的な問題解決には至っていません。

そこで本研究の目的は、今まで十分に検討されていない、いわゆるジェンダーアンコンシャスバイアス（以下、非意識のジェンダーバイアス）が離職に影響するのかについて検討を行うことです。また、非意識のジェンダーバイアスとこれにより発生する可能性のある葛藤（ワーク・ファミリー・コンフリクト）、離職意思についての関連の検討も行います。

非意識のジェンダーバイアス（例：女性＝家庭、男性＝仕事）は、フルタイムの仕事を追及するのに伴う不安や子育てに労力投資をもっとしないことにまつわる居心地の悪さという出所のよくわからない無自覚な影響を通して、巧妙に、また持続的に維持されているのかもしれないことが指摘されています。

また、ジェンダーバイアスとその心理的影響を調査する研究では、質問票や評価尺度などの明示的な自己報告法を用いることが多いです。しかし、自己報告の妥当性は、参加者が自分の態度を自覚し、敏感で、回答の社会的望ましさにかかわらず、正直に正確に報告する意思がある

かどうかにも左右されます。そこで、非意識のバイアスを測定するために 1998 年に Implicit Association Test (IAT) という測定法が開発されました。IAT を研究手順として用いた研究報告は、現在では査読付き論文として 3000 本を超えています。しかし、IAT を用いた非意識のジェンダーバイアスと医師の離職の関連について検討した報告はありません。

次にワーク・ファミリー・コンフリクトは、仕事と家庭の役割が同時に生じることにより相互に両立しないような役割間プレッシャーにより生じる役割間葛藤の一形態と定義され、ワーク・ファミリー・コンフリクトが高い医師と離職意思が関連することが指摘されています。ワーク・ファミリー・コンフリクト尺度は Carlson らが 2000 年に英語版を開発し、渡井らが 2006 年に日本語版を開発し信頼性妥当性が確立しています。しかし日本の医師のワーク・ファミリー・コンフリクトを検討した報告はありません。

最後に、自発的に職場から離脱しようとする意思と定義される離職意思は、信頼性妥当性が検証された日本語版尺度を津野らが開発しています。また離職意思は離職との関連が指摘されています。しかし、離職意思についての日本の医師で検討した報告もなく、また非意識のジェンダーバイアスやワーク・ファミリー・コンフリクトとの関連を検討した報告もありません。

【研究方法】

- ・対象者は東京大学眼科学教室に所属している関東の大学附属病院や総合病院の常勤医の 141 名です。
- ・本研究では、Web 調査 (Implicit Association Test、アンケート) を行います。
- ・調査の所要時間は 20 分以内です。
- ・調査に個人情報を含みません。
- ・対象者に調査票をメールで送付します。

なお、研究計画書や研究の方法に関する資料を入手・閲覧して、研究内容を詳しくお知りになりたい場合は、末尾の連絡先にお問い合わせください。他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲でご提供させていただきます。

2. 研究参加の任意性

この研究にご参加いただくかどうかは、研究対象者の自由意思に委ねられています。

研究の内容について理解いただき、研究にご参加いただける場合は、Web 調査票の同意欄にチェックをしてください。なお、研究にご参加いただけない場合でも、将来にわたりあなたの不利益につながることはありません。

3. 個人情報の保護

この研究に関わって取得される情報等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。WEB アンケートサイトよりダウンロードした回答は、連絡担当者である坪田裕喜子のもと、パスワードロックをかけた外部ハードディスク、鍵のかかるキャビネットで厳重に保管します。アンケートは無記名で行うため、同意を取り消すこと、研究への参加を取りやめることはできません。研究の成果は、学会発表や学術雑誌で公表します。

4. 研究に関する情報の公開および研究により得られた結果等の取扱い

研究の成果は、あなたの氏名等の個人情報が明らかにならないようにした上で、学会発表や学術雑誌、等で公表します。

国内外の学術雑誌での公開にあたっては、研究成果の第三者による検証や複数の研究の結果を統合して統計的に検討する際の原資料となることもあるために、解析・論文作成に用いた資料を学術雑誌社・学会（誌）へ提供・公開すること、また保管されることがあります。

個人的なお問い合わせをいただいた場合でも、個人調査を取得しない調査であるため、個別の研究結果についてはお伝えすることができません。下記のお問い合わせ先に連絡いただければ、全体の研究結果についてはお伝えいたします。

5. 研究対象者にもたらされる利益及び不利益

この研究が、あなたに直ちに有益な情報をもたらす可能性は高いとはいえません。しかし、この研究の成果は、今後の非意識のジェンダーバイアスと離職意志の研究の発展に寄与することが期待されます。したがって、将来、あなたに離職する女性医師の抑制の面で利益をもたらす可能性があると考えられます。

この研究では、アンケート回答に10分～20分程度要します。また個人情報はいませんが、プライベートに関わる質問が若干あります。そして、ネット使用料や通信費の負担の可能性があります。

ネット使用料や通信費の負担軽減費としてご希望の方には謝礼をお渡しします。

6. 研究終了後の情報等の取扱い方針

取得した情報等は、原則としてこの研究のためにのみ使用します。

取得した情報・データ等は厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。保管期間終了後には、研究責任者のもとデータを削除することで廃棄します。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。

これらの資料・情報等は保管期間中に、この研究以外の研究に使用される可能性もあります。その場合には改めて倫理委員会の承認を受け、あなたの同意を得るか、または情報公開により研究対象者となることを拒否する機会を設けます。

尚、提供いただいた情報の管理の責任者は下記の通りです。

情報の管理責任者

所属： 東京大学大学院医学系研究科医学教育国際研究センター医学教育学部門

氏名： 江頭正人

7. あなたの費用負担

今回の研究に必要な費用について、あなたに負担を求めることはありませんが、ネット使用料や通信費の負担の可能性があります。

また謝礼ご希望の方は、アンケート最後に表示されるキーワードを連絡担当者(tsubota-yukiko@g.ecc.u-tokyo.ac.jp)にメールで送信してください。メールのタイトルは「謝礼希望」としてください。連絡担当者より3000円のAMAZONギフトカードをお送りします。

8. 研究から生じる知的財産権の帰属

本研究の結果として知的財産権等が発生する可能性はなく、研究によって得られる経済的利益はないものと考えられます。

9. その他

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学大学院医学系研究科・医学部長の許可を受けて実施するものです。

この研究に関する費用は、東京大学大学院医学系研究科医学教育国際研究センター医学教育学部門、

東京大学大学院医学系研究科眼科学、東京大学SPRING GXから支出されています。
本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

この研究について、わからないことや聞きたいこと、何か心配なことがありましたら、お気軽に下記の連絡先までお問い合わせください。

2023年12月7日

【連絡・お問合せ先】

研究責任者：江頭正人

連絡担当者：坪田裕喜子

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学大学院医学系研究科医学教育国際研究センター医学教育学部門

電話：03-5841-3480（内線 23480） FAX：03-5841-0254

e-mail：tsubota-yukiko@g.ecc.u-tokyo.ac.jp